

立川市地域防災計画
(令和6(2024)年4月修正)

立川市防災会議

想定地震について

今回の想定地震について、立川市内の被害が最大となる「立川断層帯地震」を採用しているが、立川市では東京都が令和4（2022）年5月に公表した「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」のデータに基づき選定している。

「立川断層帯」については、複数の研究結果があり、立川市内に断層が存在しないという結果を導いている研究機関もあり、市としてもその結果については承知している。しかしながら、地震調査研究推進本部が見解（平成15年評価）を変更するまでには至っておらず、東京都においても、地震調査研究推進本部の見解を採用している。

「立川断層帯」については、これまでいろいろな調査が行われたくさんのデータも出ているが、わかっていないことも多いため、市としては今後の国や東京都による見解を注視していく。